

精神保健研修会について

1 事業の目的と概要

自死やうつ病をはじめとする精神疾患の増加など、心の健康対策の重要性が高まってきている現状を踏まえ、心の健康に関連する各種研修会等に県職員や精神保健福祉に関する専門的な知識を有する者を講師として派遣し、関係機関への支援や連携を強化することにより、地域における、若年層も含めたメンタルヘルス対策のより一層の取組を促すことを目的とする。

2 助言者名

東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野

准教授 松本 和紀 先生

兼任：東北大学大学院医学系研究科 予防精神医学寄附講座，東北大学病院精神科／SAFE clinic，みやぎ心のケアセンター 副センター長

東北大学大学院医学系研究科 予防精神医学寄附講座

助手 臨床心理士 東海林 渉 氏

兼任：みやぎ心のケアセンター

3 研修会概要

(1) 実施箇所 県内の公立高等学校

(2) 実施回数及び相談件数 9回（第2回・第8回は全教員向け研修会として実施），20件

(3) 実施内容（概略）

実施日時	実施内容（概略）
第1回 6月16日（金）	統合失調症，ADHD，不登校に関する相談
第2回 7月27日（木）	※全教員向け研修会（事例検討） ADHD，情緒不安定，こだわりに関する相談
第3回 8月25日（金）	起立性調節障害，情緒不安定，ADHDに関する相談
第4回 9月21日（木）	不登校，起立性調節障害に関する相談 ・松本先生からSDQ（質問紙）の紹介
第5回 10月27日（金）	ADHD，場面緘黙に関する相談
第6回 11月24日（金）	不登校に関する相談
第7回 11月28日（火）	情緒的・行動的な不安定についての相談
第8回 1月26日（金）	ぐ犯行為，ADHDに関する相談
第9回 3月8日（木）	※全教員向け研究会（講義） 「若年者のメンタルヘルス～発達障害の理解と支援も含めて」

4 事業評価と今後の取り組みについて（実施した高等学校より）

- ・ 本研修会を実施することは、様々な心の問題を抱える生徒への理解を深めるとともに、教育機関での具体的な支援方法の一助となっている。
- ・ 事例検討や講義などの全職員を対象とした研修会を実施することで、発達障害や精神疾患、あるいは精神医学の基礎基本を学べる機会となっており、職員の質の向上にも繋がると考えられる。
- ・ 今後は、さらに特別な支援を要する生徒の増加に対し、適切に支援する体制を確立するための一つの取り組みとして、この研修会をより充実したものにしていけるよう努めていきたい。